CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要

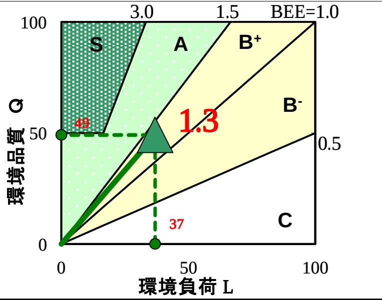
建物名称	(仮称)池田市新町 計画	階数	地上11F
建設地	大阪府池田市新町	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域,準防火地域	平均居住人員	150 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年3月 予定	評価の実施日	2025年4月8日
敷地面積	814 ㎡	作成者	株式会社 日企設計
建築面積	372 ㎡	確認日	2025年4月11日
延床面積	3,016 ㎡	確認者	株式会社 日企設計

1-2 外観

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

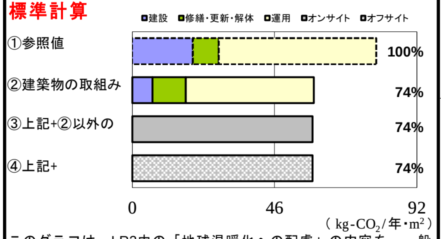
BEE =1.3 ★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



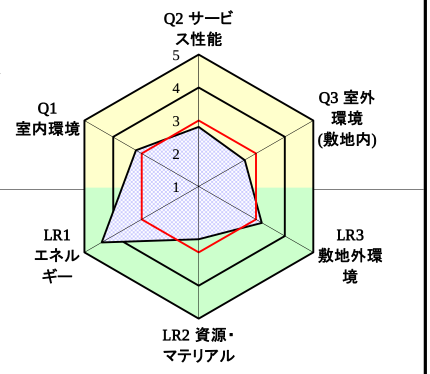
2-2 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

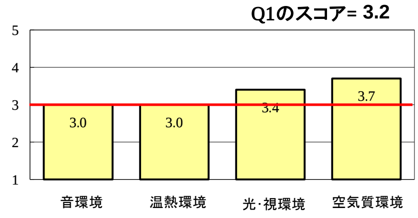
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



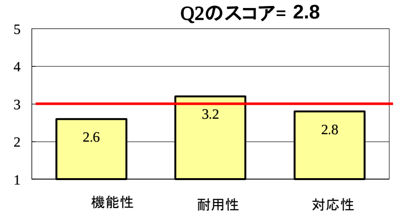
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア= 2.9

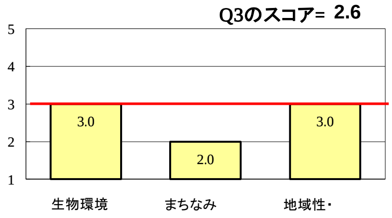
Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.2



Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.8

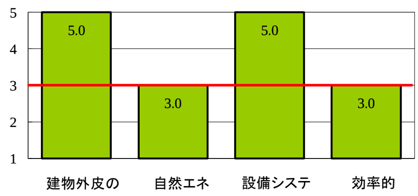


Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.6

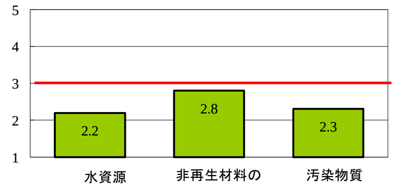


LR 環境負荷低減性 LR のスコア= 3.5

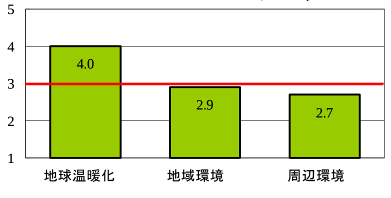
LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.4



LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.6



LR3 敷地外環境 LR3のスコア=3.2



3 設計上の配慮事項

総合	その他
敷地内にバランスよく緑を配置させ、適切な緑化計画を行っている。	特になし

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
全ての内装材にF☆☆☆☆を採用してる。	給水・汚水・雑排水にB以上を使用	外構緑化指数74%

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
建物外皮の熱不可抑制は等級5相当	特になし	LCCO2=62%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency(建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality(建築物の環境品質)、L: Load(建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction(建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency(建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO_2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO_2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム　2024年版
大阪府の重点評価（結果）

受付番号　R7-0018

Osakafu-新築・既存 2024V1.3

【建物概要】 建物名称	（仮称）池田市新町 計画
建設地	大阪府池田市新町
用途／区分	集合住宅

【評価結果】	CASBEE 総合評価		B＋
①	CO2削減		4
②	みどり・ヒートアイランド対策		3
③	断熱性能		5
	建築物省エネ法に基づく省エネ性能ラベル　住宅（住棟）又は複合建築物の住宅部分	1 2 3 4 5 6 7	5
④	エネルギー消費性能		5
	建築物省エネ法に基づく省エネ性能ラベル　住宅（住棟）又は複合建築物の住宅部分		3
	建築物省エネ法に基づく省エネ性能ラベル　非住宅建築物又は複合建築物の非住宅部分	評価対象外	評価対象外
⑤	自然エネルギー直接利用		〇

再生可能エネルギー利用施設の導入状況								
太陽光発電	〇	風力	―	地熱	―		―
太陽熱利用	―	水力	―	バイオマス	―		―

エネルギー消費量の報告	対象外

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE　LR3　敷地外環境　1. 地球温暖化への配慮	4.0	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE　Q3　室外環境（敷地内）　1. 生物環境の保全と創出	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE　Q3　室外環境（敷地内）　3. 2　敷地内温熱環境の向上	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE　LR3　敷地外環境　2. 2　温熱環境悪化の改善	3.0	
③ 断熱性能	CASBEE　LR1　エネルギー　1. 建物外皮の熱負荷抑制	5.0	5
④ エネルギー消費性能	CASBEE　LR1　エネルギー　3. 設備システムの効率化	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE　LR1　エネルギー　2. 自然エネルギー利用	3.0	〇
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		